大阪新聞錦画 第二号

種痘の御世話も馬の耳ゆ風と
三ツの馬や為朝の宿を悦ぶ親達ハ
さらせて置れ化物ハ有り堀江辺の
人力車まかも立派な二人のり、或る日街の
容まち小三人連との子供をハ味く のせる
車小巣りー子供の大声ハモウ大阪ゆ
未あれぞ是より諸国へ廻りて績そぶけ
ーてやらんあゝ結もつきね
今宮の
辺りまて車かる
ありしふ見まそ

子供ハろろ
まぐろーの夢うつくうさく
うせてちくふ捨さる十銭の包んで有てー赤紙ハ是空
まろり發熱ハろーの咄ーのそぶり此様ハ疱瘡神と知れぐろ

握昇記

人の噂をさくふ
つけ早く何との
親達
空を持

小舟汀の芦の
そよみらで植て楽
うろうろ代ハ竹枝葉
の栄へを祈るぞ
うろー